



綿っ子通信



令和7年7月18日発行 第6号

終業式 夏休み中も3つの言葉を忘れずに (抜粋)

明日から44日間の夏休みが始まります。

夏休み中は、当然ですが学校がありません。今まで学校に来ていた時間を家などで過ごすということになります。そんな夏休みのたくさんの時間をムダにしないためにも、学校のいろんな所に掲示してある3つの言葉を忘れずに過ごしてほしいです。

自分で考える 自分から行動する 仲間と協力する

- ・夏休み中の目標や計画を自分で考えていますか？
- ・夏休み中に目標や計画を達成するために自分から行動していますか？
- ・友達や兄弟、家族の人や地域の人でもかまいません。仲間と協力しようとしていますか？

このように、夏休み中でも3つの言葉を忘れずに、できる人は声に出しながら生活すると、充実した夏休みになるかも知れません。

1学期中にも、この3つの言葉を実行してくれた人たちがたくさんいます。2学期は、1学期以上にこの3つの言葉を実行してくれる人が増えることを願っています。そのためにも、夏休み中も3つの言葉を忘れずに過ごしてください。



退任式

終業式のあとに、7月31日をもって退任される2名の先生方の退任式を行いました。お世話になった先生方とのお別れは悲しいですが、今後のご活躍を願い、感謝の気持ちを込めてお見送りをしました。2名の先生方には、これまで本校のためにご尽力いただいたことに心より感謝申し上げます。

なお、森政彦先生の後任は三浦果歩先生が引き継ぎ、マリオ先生の後任は2学期以降にお知らせいたします。



「がんばり表」は、今後の意欲に

本日、担任よりがんばり表が手渡されました。がんばり表の中に記載されている内容をお子さんと一緒に確かめながら、1学期の頑張りは大いに褒め、認めてあげてください。

また、課題となったものについては、夏休みを利用して改善したり、克服につながるように励ましたりして、2学期以降の学習意欲や新たな目標設定にご活用ください。

学校では、一人ひとりの児童のよさやがんばりに目を向け、お伝えすることを心掛けております。評価等についてお問い合わせがあるときは、遠慮なく学校までご連絡ください。

なお、保護者が確認したしるしとなりますので、保護者欄にひとことご記入いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



夏休みに子どもと一緒にしてほしいこと

本日で無事1学期が終わります。日頃より保護者の皆様や地域の皆様から温かいご支援・ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。夏休み中も暑い日が続くことが予想されますが、ご家族ともども、どうぞ元気にお過ごしください。

さて、夏休みに子どもと一緒にしてほしいことをお伝えします。是非、参考にしてください。

① 人に優しく（親切に）したことを、聴いて、話して、認め合う。

心の3大欲求と言われているのが、「自発性（自分からやっている感）」「つながり」「有能感（できる感）」です。人に優しくしたり、親切にしたりしたときには、これらの欲求が満たされる傾向にあると言われています。これは、子どもでも大人でも同じです。親子ですするにはもってこいの課題です。「ありがとう」と言えた、家の手伝いをした、行ってらっしゃいと笑顔で言えた…など、行った内容は簡単なもので大丈夫です。欲求が満たされることにより自己肯定感が高まります。

② その日にどんないいことがあったかを思い出して、寝る前などに言い合う。

その日を思い返して、何かいいことがなかったかを考えて答えさせます。答えたことは、否定しないようにしましょう。「そんないいことがあったの？」と驚いてあげるのも大切なポイントです。ネガティブなことを意識するのではなく、ポジティブなことに意識が向けられるようにするために、一日の終わり、寝る前などに親子で言い合い、明日もいいことがあるはずだ、いいことを見つけようという気持ちを育ててください。

【子どもたちの行事・活動】

◆ 7月2日 音楽集会 わたっこ広場

2回目の音楽集会は、2年生と4年生の発表と全校で手話をしながら「ありがとうの花」を歌いました。

学校ブログ（ホームページ）でも、学校の様子を配信しています。

<https://ota.schoolweb.ne.jp/1010078>



◆ 7月11日 5・6年 着衣泳

5・6年生が着衣泳を行いました。綿打小学校では初めての行事となります。衣服を着用したまま水中に落下した場合を想定して、泳ぐことだけでなく、長く浮いていられるようにするための対処法を学びました。



【児童の感想（5年・抜粋）】

★僕が着衣泳をやった思ったことが3つあります。1つ目は、服のまま入った瞬間、身体が重くなり動きにくかったことです。すごく重くなることをはじめて知りました。2つ目は、体力を使わずに浮いて助けを待つことが大事だということです。3つ目は、川などで浮く時間が少しでも長ければ、自分の命を救えるということです。着衣泳をやって、すごく大事な勉強だと思いました。

★はじめはいつものプールみたいに泳いだりすればいいと思っていました。いざ泳いでみたら、靴や洋服、ズボンなどが重くてなかなか泳げなかったです。先生が見本で、バタバタすると溺れるということを教えてくれました。ペットボトルを持って浮く方が楽なことを知りました。

★水の中に入って歩いてみると、服が重くてなかなか思うように進めずに苦労しました。水に浮かぶときは少し大変でしたが、友達の支えがあって浮かぶことができました。初めての着衣泳でしたが、水に浮かぶ方法やペットボトルでの浮き方がよくわかりました。

★私は、着衣泳をして、自分の命は自分で守ることがよくわかりました。これから夏になって水に入るが増えるので、今日学んだことをしっかり覚えて安全に過ごしたいです。

◆ 7月11日～15日 ドッジボール大会

この大会は、進行、審判、得点、放送など、さまざまな役割を子どもたちが主体となって行い、3～6年生のクラス単位でチームを作り、グループ戦を経て、最後は決勝トーナメントで優勝チームを決定する大会です。今年度第1回大会の優勝は6年2組！熱戦の様子はホームページにて写真や動画で見ることができます。

